

明日から使える照明講座～高校演劇編～ 「照明って何ができるの？」

◆◆◆開催要項◆◆◆

◆講座の目的

演劇が好きで舞台づくりをやっているけど、照明のことがいまひとつわからない。照明って何ができるの？

そんな疑問にダイレクトにわかりやすく答えるのが、今回の「明日から使える照明講座～高校演劇編～」です。芸創に集まって、さあ、みんなでやってみよう！

◆とき

2022年6月4日（土） 14：00～17：00（受付13：30～）

2022年6月5日（日） 9：30～12：30（受付9：00～）

※2回開催の内容は同じですが、両日参加することも可能です。

◆ところ

富山市民芸術創造センター 舞台稽古場

◆主催

（公財）富山市民文化事業団（富山市民芸術創造センター）、富山市
富山県高等学校演劇研究協議会

◆講師

渡部佳子さん（舞台照明デザイナー）

オーバード・ホール舞台技術課

◆参加対象と参加費

県内高等学校演劇部員および顧問

参加1名につき500円（資料・保険代）を当日負担いただきます。

◆参加申込み方法

「参加申込書」をメールで受付けます。

申込み〆切 5/25（水）

メール送信先：kojin-chiyo@ed.pref.toyama.jp

富山県高等学校演劇研究協議会 講神先生（呉羽高校）

◆講座の流れ

この講座は3つのパートでできています。

Part A = シーンをイメージして「あかり要望書」を照明家に提出する。



みなさんが作ってみたいシーン、舞台上で表現したい場面はどんなものですか？ それをイメージして、あなたの言葉で「あかり要望書」に書いて、プロの照明家にリクエストを伝えてみましょう。

専門用語は必要ありません。写真や絵を使うのも自由。より具体的なリクエストのためには、下記のYouTube動画などの資料を参照してください。

<提出物と参考資料>

提出物 = (1) あかり要望書 (記入例参照)

メール最終メ切 5/31(火) 早めの提出歓迎!

geisou2@aubade.or.jp 芸術創造センター 照明講座係

※事前の質問メールも大歓迎! 渡部講師からご返事します。

参考資料 = (2) あかり要望書作成のための参考動画 (YouTube)

芸創HPで5/24以降にYouTubeアドレスを公開します。

(3) [照明基本あたり表 平面図](#)

(4) [照明基本あたり表 断面図](#)

(5) [照明基本チャンネル表](#)

Part B = プロの照明家が、あなたがリクエストしたあかりをつくる。

みなさんが書いた「あかり要望書」にもとづいて、プロの照明家が芸創舞台稽古場であかりを仕込んでいきます。さて・・・どんな照明になるか。

Part C = 舞台稽古場で、照明家と一緒にもう一度あかりを考えてみる。

いよいよ講座当日! リクエストで作られたあかりは、思った通りのシーンイメージになっているのでしょうか? もしなっていないとすれば何が伝わらなかったのか、講師渡部さんとのやりとりで、自分の思い描いたシーンに近づけてみましょう。

<Part C 当日の流れ>

- 1 講師紹介、講座内容の説明
 - 2 打ち合わせ表と舞台用語について
 - 3 平面図、断面図、あかり機材などの理解
 - ・ 図面を見ながら吊り物を実際に動かして名称や用途を理解する。幕類がなぜ必要か、見切れとは何か。その他の備品や消防法にも触れる。
 - 4 照明のあたりの説明
 - ・ チャンネル表の順にあたりを見ながら解説。スポットの種類と実演。
 - 5 「あかり要望書」のあかりを作ってみる。
 - ・ 希望のあかりができるまでの作業で、SSの使い方、ホリの色の考え方、つくり方を学ぶ。
 - 6 Qシートの書き方
 - ・ あかりを作りながら、Qシートの書き方、見方を理解する。
 - 7 質疑応答
- 番外編 <調光卓の体験!> 希望者に調光卓を実際に触ってもらう。

◆◆**舞台照明デザイナー 渡部佳子さん**からのメッセージ◆◆

照明はどういうシーンにしたいかを考えることが最も大切で、プランが明確であればそれをスタッフに伝える方法は自己流で大丈夫です。ただ高校演劇の大会の時は平面図、断面図を使ってそれを担当者に伝えることが必要になり、本番の調光卓操作もあかり作りも自分たちでやることになります。今回のあかり作りの実践が、照明で何が出来るかは勿論ですが、チャンネル表、あたり表が理解出来るようになり、自分たちが表現したい照明 = 舞台を作る手がかりになって貰えればと思います。 ◆講師プロフィール◆